

教 財 第 3 4 8 号
平 成 26 年 1 月 6 日

文部科学大臣 殿

静岡県知事 川勝 平太

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校		
中学校		
高等学校		
特別支援学校		
幼稚園		

【所見】

- ・来年度の防災計画に取り入れる予定。設置後、地域の方々に説明会を行った。参加者の学校評議員からは、災害時に有効利用できると好評だった。(田方農業高校)
- ・連絡協議会において、市の防災担当者及び学校所在の区長及び地域防災責任者へマンホールトイレを紹介し、地域における学校の防災機能の理解や強化が図られた。出席者からは、本校が地域の避難所であることから、被災時にまず大きな問題となるトイレ対策が推進されたことを全員が評価するとの意見であった。(御殿場南高校)
- ・地域の参画を得て行う防災教育の際に、学校の役割や災害時の状態等、具体的な活動を想定することができるようになった。教職員及び生徒による組立で訓練を実施したほか、自主防災会の方にマンホールトイレの機能紹介を行った。自治会長から今後は市や自主防災会との連携を強化して、防災力を向上させたい旨話があった。(裾野高校)
- ・文化祭時における、防災委員会による仮設トイレの展示や、防災訓練時における、仮設トイレ設置訓練を通し、地域住民や生徒・教職員に利用方法などを周知することができた。災害発生時等で、本校が避難地や避難所になる可能性があり、その際に仮設トイレが大いに役立つ可能性があるとの第三者から評価があった。(沼津西高校)
- ・特別活動にて、マンホールトイレの組立を実施した。(富士東高校)

・職員及び生徒による設営訓練を行った。また、避難所運営連絡会議で職員による地域住民等自主防災組織への設備及び取り扱いの説明。自主防災組織による仮設営を行った。
軽量で簡単に短時間で組み立てができ、衛生面も管理面もとても良いという第三者からの評価があった。(富士宮東高校)

・防災教育推進のための連絡会議にて、外部からの会議参加者に説明を行った。(参加者は富士宮市担当者・各地区自主防災会長など)
広域避難所に指定されている富士宮北高校にマンホールトイレができたことで、災害時の活用が期待されると第三者からの意見もあった。(富士宮北高校)

・本校職員と連合自治会長・防災担当者・近隣住民等参加して使用説明会を開催した。
学校防災機能の強化については、日常生活で必要不可欠なトイレ設備が整い、万が一の災害時には利用できるため、評価は高い。
学校評議員からは、マンホールトイレを採用したことの評価が高かった。(清水西高校)

・整備直後、数回防災担当教職員、事務職員が業者から使用方法の説明を受け組立練習をした。第三者からこういった施設があることは有難いという評価があった。(静岡東高校)

・町内からは、たいへんありがたい、発災時に是非利用させていただきたいとの意見があった。(静岡西高校)

・関係職員による組立訓練を実施し、校内防災担当職員が組立方法、使用方法を習得した。今後、地域の防災訓練を含め利用を検討したい。(静岡農業高校)

・マンホールトイレの組立体験・取扱訓練により、生徒・教職員及び住民の防災意識の向上に役立った。防災会長より「避難所の衛生環境に大切な役割を果たし、地域住民の安心度が増す。また災害発生時、迅速に組立設置ができるよう、地域の町内会等で収納場所や使用方法を確認するため、定期的に防災訓練や設置体験を行い住民の防災意識啓発に役立てたい。」と評価があった。(藤枝東高校)

・教職員を対象とした説明会・組立訓練を実施した。今回のマンホールトイレの整備は教職員・生徒に大きな安心感を与えた。
また、生徒が災害について考える良いきっかけになった。(藤枝西高校)

・学校評議員から、大規模地震発生の際に有効活用できるよう、地域住民にも十分周知してほしい、との意見があった。(池新田高校)

・職員を対象に仮設トイレの組立及び使用方法の講習会を実施した。「被災時に真っ先に困るのがトイレと言われている。最も必要と思われる施設が学校に設置され、非常に安心した。」と第三者からの評価があった。(磐田北高校)

・実際に利用する機会はまだないが、職員に対して実演を含めた使用方法の説明会を実施した。その結果、有事に対する備えが設備だけでなく意識の面でも充実した。(磐田西高校)

・職員防災研修として、実際に組立てを実施した。
教職員全員がマンホールトイレの知識を得、組立てを体験したことで、マンホールトイレに関する共通認識を高め、災害発生時の迅速な支援活動や防災意識の向上に繋がるものであった。
マンホールトイレは災害を未然に防ぐの有効な対策であるとPTA会長より評価があった。(浜松西高校)

・職員へのマンホールトイレの組立方法の説明に使用した。防災訓練において、マンホールトイレの設置意義を生徒に伝えることで、防災に対する意識を高めることができた。
先の震災ではトイレが問題となったので、災害時にはマンホールトイレの利用が大いに見込まれるとの評価があった。(浜松商業高校)

- ・マンホールトイレについて、児童生徒に説明し安心感を与えると同時に、備えの姿勢に係る防災教育に役立てた。
地区防災訓練の時、本校を避難地としている町内住民にトイレの組み立て訓練、使用の仕方の講習を行い、災害時に地域と学校が協力して使えるようにした。
- ・被災した場合トイレがとても大変なため、マンホールトイレが設置されて良かったと第三者から評価があった。(沼津視覚特別支援学校)
- ・校内の防災訓練において、トイレの組立を行い、職員の非常時の対応について確認を行った。
「災害時には、トイレの問題は大きく心配だが、福祉避難所にマンホールトイレが整備され大変ありがたい。」と評価があった。
(浜松視覚特別支援学校)
- ・職員によるマンホールトイレの設置訓練を行った。これにより多くの職員が、組立と使用方法に対する理解と、防災についての認識を高めることができた。
また、子どもを預けている立場から、学校の防災力の強化は心強いとPTA役員から評価があった。(静岡聴覚特別支援学校)
- ・訓練のために組立設置を実施。車椅子対応にもなっており、良いシステムであると第三者から評価があった。(浜松特別支援学校)
- ・防災訓練で、マンホールトイレの組立てを行い、防災に対する意識を高めることが出来た。
発災したときは、トイレは必要なので、設置してもらってよかったと第三者から評価があった。(浜名特別支援学校)
- ・教育活動として、全校児童生徒を対象に防災学習を実施した。その中でマンホールトイレの使用方法について学習する機会を設けた。児童生徒は、校内に新たに設置されたマンホールトイレの存在や使用方法を知ることができ、防災に対する意識や避難所のイメージを持つことができた。PTA会長から「本校は福祉避難所に指定されており、災害時は要援護者の避難所となる。多くの避難者が集まった場合、トイレの問題は深刻である。今回の整備は課題改善につながり、防災機能の強化に有効である」と評価があった。(清水特別支援学校)

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

--

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達成状況 】

<input type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

--

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達成状況 】

<input type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

- ・駿河総合高校と生徒昇降所が共用となっており、駿河総合校生は1階を通過して2階から4階の教室に行くというルートとなっている。このような環境は、共生・共育を教育目標の柱としている南の丘には、有効・有益な環境である。
- ・保護者からは、「行事等の交流だけでなく、日常的な交流ができる環境はありがたい」という感想が聞かれている。
- また、管理棟1階の小会議室を南の丘分校が優先使用できることとなったため、PTA役員会や、教職員への相談、保護者の情報交換の会として気兼ねなく使用できるようになったことに肯定的評価が多く聞かれている。(静岡北特別支援学校)
- ・分校が焼津水産高校内に設置されているため、焼津水産高校の生徒との交流を図ることができている。交流内容は授業や行事のみでなく、部活動を通じての日常的な範囲にまで多岐にわたっている。
- ・分校は就労を目標として教育課程を設定しており、作業学習の時間を多く確保しているため、作業室として施設整備した教室を効果的に活用している。また、作業室の広さから、全生徒による集会の場など、本来の用途以外にも幅広い活用ができている。
- ・保健室の空調設備は、夏の猛暑で体調を崩しがちな生徒にとって必要不可欠であった。
- ・「開校して半年であるが、水産高校との共生共育も順調に進んでいる。また、就労にむけて作業学習が充実していることを感じている。」と第三者から評価があった。(藤枝特別支援学校)
- ・障害の程度が比較的軽度な生徒を対象とした分校を整備したことにより、作業学習に特化した教育課程を編成することができた。1棟をほぼ分校で使用できることもあり、たいへん使いやすい。また、沼津城北高校に併設しているため、城北高生徒との交流をとおして共生・共育が図られている。
- ・「沼津城北高校との交流や作業学習をとおした地域とのつながりが障がい者に対する理解を深めていると感じた。また、教室環境や、作業・学習内容が充実していると感じた。」と第三者から評価があった。(沼津特別支援学校)

2 事後評価の時期及び方法について

各学校において、学校評議員会、PTA役員会等を開き事後評価を行った。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計上していた事業について、計画どおり実施できた。
学校評議員やPTA等から効果があると評価を受けることができた。
今後も様々な場面で、地域住民との交流を図りながら意見を反映させて施設整備を進めていく。

施設整備計画 事後評価シート(個別票)

1 計画名称 静岡県公立学校等施設整備計画

2 計画作成主体 静岡県

3 計画期間 平成24年度～平成24年度

4 個別事業一覧

都道府県名	静岡県
市町村名	

※この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
静岡北特別支援学校南の丘分校	④	109	特支(幼・高)	校	S	○	平成24年7月18日				
(仮称)志摩地区特別支援学校分校	④	603	大規模改造(空調)	校	R	○	平成25年3月1日				
(仮称)沼津地区特別支援学校分校	④	603	大規模改造(空調)	校	R	○	平成25年3月11日				
(仮称)志摩地区特別支援学校分校	④	603	大規模改造(教育内容)	校	R	○	平成25年3月11日				
(仮称)沼津地区特別支援学校分校	④	603	大規模改造(教育内容)	校	R	○	平成25年3月11日				
(仮称)田方農業高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月18日				
(仮称)御殿場南高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月15日				
(仮称)裾野高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月15日				
(仮称)沼津西高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月25日				
(仮称)富士東高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月25日				
(仮称)富士宮東高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月25日				
(仮称)富士宮北高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月25日				
(仮称)清水西高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月26日				
(仮称)静岡東高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)静岡西高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)静岡農業高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)藤枝東高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)藤枝西高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)池新田高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)磐田北高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)磐田西高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)浜松西高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月26日				
(仮称)浜松商業高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月26日				
(仮称)沼津視覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月25日				
(仮称)浜松視覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月26日				
(仮称)静岡聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月22日				
(仮称)浜松特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月26日				
(仮称)浜名特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月27日				
(仮称)清水特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成25年3月26日				

教 財 第 3 3 7 号
平 成 27 年 1 月 5 日

文部科学大臣 殿

静岡県知事 川勝 平太

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校		
中学校		
高等学校		
特別支援学校		
幼稚園		

【所見】

「非常時の衛生管理上の効果は大きい。」と職員からの意見があった。また、第三者から「地域の避難場所に非常用衛生設備が設けられたことは心強い。」との意見があった。(韮山高校)

地域防災会議において、自主防災組織と本校生徒が協働して避難所設置訓練を計画している。(三島北高校)

防災訓練で組立を実施した。設置した効果により学校の防災機能が強化された。第三者より「災害発生時、水道の不通等で学校内のトイレが使用できなくなる可能性があるが、災害用仮設トイレを設置したことにより衛生上の不安が軽減されたと考えられる。設置による利点は大きい。」との意見があった。(吉原高校)

8月の地域防災連絡会議において地域住民代表と富士宮市職員と共にマンホールトイレの設置訓練実施。また、11月の地域防災訓練では住民による設置訓練実施。災害時のトイレの重要性の意識づけに効果があった。12月の校内防災訓練では、生徒によるマンホールトイレ設備の見学を実施。第三者より「災害発生時の避難場所である学校施設において、トイレ機能維持におおいに期待できるものである。マンホールトイレの組立、設置の訓練もスムーズに行うことができ、有効であった。」との意見があった。(富岳館高校)

校内においては、職員に対し、被災時生徒の安全確保に有益であることを周知した。また、近隣住民に対しては工事の引渡し時に、設置手順や使用方法の説明を学校職員とともに聞く機会を設け、被災時に学校が避難所となった際には地域住民も利用できることを広報した。学校近隣に居住する学校評議員から、被災時には住民も利用できることを確認され、地域にとってもありがたいことである旨の意見があった。(伊豆中央高校)

平成26年12月の地域防災訓練において、地区防災組織の担当者と設置状況や使用方法について確認した。(清水南高校)

平成26年3月マンホールトイレ組立の説明を業者から受ける際に、工事担当以外に地域住民の方と本校教職員も説明を受け、実際に全員協力して組立を行った。12月に地域住民と生徒と職員で組立訓練をする。地域の方には県で設置したものが役立つことを宣伝でき、防災機能強化にもなった。(静岡城北高校)

町内会の防災訓練時にマンホールトイレの説明を行い、仮設トイレの保管場所や設置場所の周知を図ることができた。また、授業や文化祭等でマンホールトイレの説明等を行い、生徒・職員・来校者に場所・仕組み・重要性を感じてもらうことができた。「避難所生活を送る上で一番困ることはトイレの問題なので、災害時用マンホールトイレを整備していただいて大変ありがたい。災害時には是非、活用させていただきたい。」と第三者から意見があった。(科学技術高校)

防災訓練等で設置訓練を行い、防災教育の向上につながった。地元自治会からは、マンホールトイレが設置されたことで、避難地としての機能が高まったと喜ばれた。災害発生時、避難した住民が問題となるトイレが学校に設置されたことは、非常に良いとの意見もあった。(静岡商業高校)

防災訓練の際、生徒及び近隣住民(災害時に避難する予定の住民)には、災害時にマンホールトイレが利用できることを案内している。焼津市の防災連絡協議会において、地域住民の代表者から「いざという時に助かる」との意見が出された。(焼津水産高校)

1年に1度、マンホールトイレ組立研修を行い、災害時に対応できるようにしている。「避難所に指定されているため、災害時には有効な設備である。」と第三者から意見があった。(横須賀高校)

地域住民が、災害発生時等、緊急時にマンホールトイレを円滑に利用できるよう町内会主催の『防災訓練』等を通して周知を図っていく予定である。町内会の方から「マンホールトイレの設置は災害時の衛生面から考えてもよいことである。」という意見があった。(静岡中央高校)

教職員を対象に使用方法についての講習を実施した。また今後地域防災会議等の折に地域自治会の防災担当者に周知し、地域防災訓練等で利用を図っていく予定である。学区自治会長及び防災担当者から防災機能の強化につながることであり、避難所運営の際には有効活用したいとの意見があった。(駿河総合高校)

応急対策要員に対し、使用方法の説明とトイレブース組立ての実地研修を行った。地域防災訓練時に、地域の防災リーダーに設置場所を広報し、組立・使用方法の説明書を配布し周知した。全職員がマンホールトイレの理解を深めるために、写真入り説明書をサーバーに保管し、防災意識を高める一助とした。「誰でも判り易い場所に設置されたことは大変ありがたいことです。例えこの様な物が新設されても非常事態の時には探すことさえ苦労すると思われます。取扱説明もきちんとされていて大変扱い易いと思います。個数も多く沢山の方々が利用できるのは何よりも素晴らしい。」「いつ起こるかもしれない災害を前に、東日本大震災等の経験を生かしこの様な設備を設けて頂き、大変ありがたいことだと思います。」等の意見が第三者よりあった。(天竜高校)

4月中旬に本校職員を対象に取扱説明を行い、周知を図った。また浜松市と避難所利用についての覚書を締結しているに当たり、設置連絡、取扱マニュアル等の送付及び使用説明を行い、災害時の地域住民への利用がスムーズに行われるよう、周知願った。災害時における利用価値は高いと考えている。「災害時において利用するものであり、普段利用されないものである。したがって地域防災訓練にて、役割を決める必要がある」と第三者から意見があった。(佐久間高校)

危機マニュアルに掲載し、職員に周知した。「このような設備があることは良いことである」と第三者から意見があった。(磐田農業高校)

今後防災訓練等で活用を考えている。「避難生活においてトイレの問題は重大なので、今回の設置は大変有効である。設置場所が駐車場用地であるため、有事に車両が駐車中だった場合など、様々な状況を想定しての有効な活用計画を策定し、関係者への周知徹底と繰り返しの活用訓練が必要と思われる。」と第三者から意見があった。(浜松南高校)

学校防災計画書に設置場所及び使用方法を記載し職員への周知を図っている。(新居高校)

「ハード面の対応はありがたい。今後使用方法等を検討していく必要がある。」と第三者からの意見があった。(引佐高校)

校内防災担当の教職員により簡易トイレの設営(和式)を行う。トイレの仕切り壁の組み立ても行い、実際に使用することを想定して組み立てを行った。「トイレ設営は1人では困難なため、被災時は役割分担して活用する必要がある」と第三者から意見があった。(浜松江之島高校)

平成26年10月15日、地域防災活動における協体制を作るため、設置業者の協力を得て、職員20名、自治会4名が、マンホールトイレの格納場所の確認、組立設置を学んだ。自治会(大平台)からも4名参加し、衛生的なトイレの組立が研修できて、自治会の役員等にも知らせることができた。(浜松大平台高校)

職員研修で組み立て等の体験を行った。防災意識が向上し、緊急時の動きについて具体的に確認をすることができた。「地域住民も使用できることはとてもありがたい」と第三者から意見があった。(静岡視覚特別支援学校)

災害時に市民の方がスムーズに使用できるよう、使用説明会には、地域の方にも声をかけ、参加してもらった。地震や津波等の災害時の衛生問題を解消するための重要な施設である。車椅子対応のため、高齢者や障害者も利用しやすいと思われる。「マンホールトイレがあれば、災害時に衛生的なトイレが使用でき、安心である。」と第三者から意見があった。(沼津聴覚特別支援学校)

平成26年3月と7月に教職員による組立訓練を行い、設置方法を確認するとともに防災意識の高揚を図った。26年9月の校内防災訓練時にも1基を設置し、幼児児童生徒に見学させることで、災害時の避難生活に対するイメージを深めることができた。地域の防災連絡会議で整備状況について説明した。PTA会長より福祉避難所に指定されているので、設置によって安心感が増した。」との意見があった。(浜松聴覚特別支援学校)

職員の夏季防災研修において利用した。職員が説明書を見ながら最後まで組立を行うことができるようになっており、組み立てがしやすいものであった。便器から直接マンホールに汚物が流れるので、処理を行いやすかった。また、職員の防災意識を高めるきっかけにもなった。「災害用トイレの活用で、教育環境を維持しやすいと思う。」という意見があった。(東部特別支援学校)

実際の災害時に活用できるように、教職員・児童生徒・PTA参加による訓練を実施予定。「本校は障害児者の福祉避難所になっており、非常時の備えとしてマンホールトイレが整備されたことは安心材料のひとつである。」と第三者から意見があった(浜北特別支援学校)

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

計画どおり実施できた。
計画したが、一部実施できなかった。
計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

--

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達成状況 】

	計画どおり実施できた。
	計画したが、一部実施できなかった。
	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

--

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達成状況 】

	計画どおり実施できた。
	計画したが、一部実施できなかった。
	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

2 事後評価の時期及び方法について

各学校において、学校評議員会、PTA役員会等を開き事後評価を行った。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計上していた事業について、計画どおり実施できた。
学校評議員やPTA等から効果があると評価を受けることができた。
今後も様々な場面で、地域住民との交流を図りながら意見を反映させて施設整備を進めていく。

施設整備計画 事後評価シート(個別票)

1 計画名称 静岡県公立学校等施設整備計画

都道府県名	静岡県
市町村名	

2 計画作成主体 静岡県

3 計画期間 平成24年度～平成25年度

4 個別事業一覧

※この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
韮山高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月20日				
伊豆中央高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月20日				
三島北高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月7日				
吉原高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月18日				
富岳館高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月18日				
清水南高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月24日				
静岡城北高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月24日				
静岡商業高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月24日				
静岡中央高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月20日				
科学技術高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月20日				
駿河総合高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月7日				
焼津水産高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月26日				
横須賀高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月19日				
天竜林業高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月27日				
佐久間高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月27日				
磐田農業高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月19日				
浜松南高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月27日				
浜松江之島高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月27日				
浜松大平台高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月25日				
新居高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月27日				
引佐高等学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月27日				
静岡視覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年2月7日				
沼津聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月7日				
浜松聴覚特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月25日				
東部特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月20日				
浜北特別支援学校	①	2201	防災機能強化			○	平成26年3月25日				